

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2018年19週 (5月2週 5/7~5/13)

2018年4月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### ◇トピックス

麻しん、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性耳下腺炎、エボラ出血熱に係る注意喚起、HIV検査普及週間

### ◇病原体検出情報

### ◇定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症、水痘等

### ◇全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(38)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、レジオネラ症(4)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)、急性脳炎(1)、後天性免疫不全症候群(4)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(2)、侵襲性肺炎球菌感染症(7)、梅毒(7)、百日咳(7)、麻しん(5)

### ◇2018年4月報

### ◇定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### ◆麻しん (5月16日現在)

愛知県の2018年麻しんの報告数は24件(3月1件、4月14件、5月9件。診断日に基づく集計)、愛知県衛生研究所で行った麻しんウイルス遺伝子型検査ではD8型が検出されています。2017年の麻しんは1件報告がありました。

全国の2018年18週までの累積報告数は125件です(2017年総報告数は189件)。

【参考ページ】麻しん・風しん患者調査事業を実施しています

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>

本県における麻しん・風しん患者発生報告状況(2018)

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl\\_2018.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2018.html)

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

麻しん(はしか)の発生状況について

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000013280.html>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi\\_4.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html)

麻しん対策の更なる徹底について(厚生労働省)

[http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/dl/180427\\_1.pdf](http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/dl/180427_1.pdf)

名古屋市:市内における麻しん(はしか)の発生状況(5月15日更新)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/8-4-3-9-0-0-0-0-0-0.html>

### ◆咽頭結膜熱 (図1)

19週の定点当たり報告数は0.29、18週33人→19週52人(1.58倍)です。

### ◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (図2)

19週の定点当たり報告数は2.09、18週195人→19週381人(1.95倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a\\_youren.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html)

### ◆流行性耳下腺炎 (図3)

流行性耳下腺炎は、ムンプス、おたふくかぜとも呼ばれ、最も多い合併症として髄膜炎があり、学校保健安全法(第2種感染症)で出席停止期間が定められています。

19週の定点当たり報告数は0.19、18週9人→19週35人(3.89倍)です。

【参考ページ】流行性耳下腺炎(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>

### ◆エボラ出血熱に係る注意喚起について

【参考ページ】エボラ出血熱に係る注意喚起について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000205580.pdf>

### ◆HIV検査普及週間

6月1日から6月7日は「HIV検査普及週間」です。今年度も休日エイズ検査が実施されます。

【参考ページ】平成30年度「HIV検査普及週間」について(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000082980.html>

アイチエイズインフォメーション(愛知県) <http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/aids/index.html>

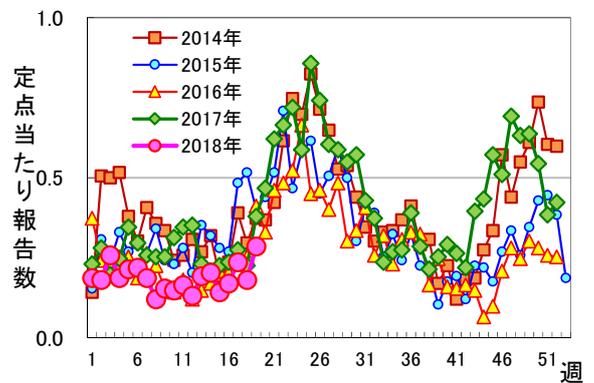


図1 咽頭結膜熱

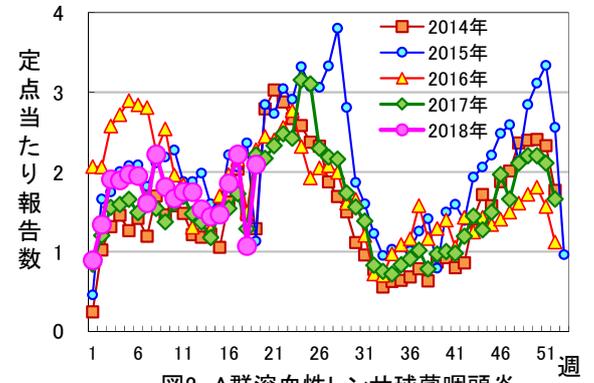


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

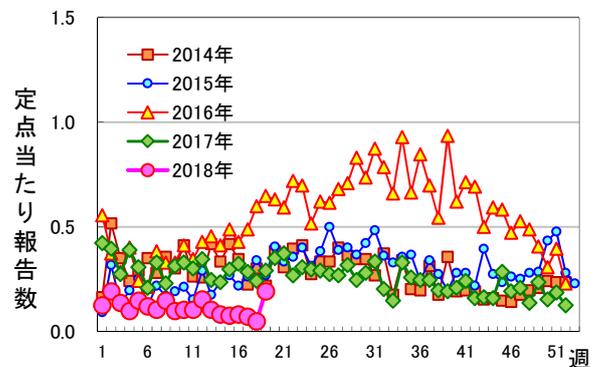


図3 流行性耳下腺炎

病原体検出情報 —2018年疾患別ウイルス検出速報— (2018年5月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	*インフルエンザ	**麻しん・風しん
								2017/2018 シーズン	
患者数	102	7	0	3	2	2	3	556	27(43)
CV-A10	-	1	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	2	-	-	-	-	-	-	-
CV-B2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
E-3	-	-	-	-	-	-	-	1	-
E-6	-	-	-	-	-	-	-	3	1(0)
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	74	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	165	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	16	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	222	1(0)
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	1 <sup>#</sup> (4)
Rota A G1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	9	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	4	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	45	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	3	-	-	1	-	-	-	1	1(0)
Ad-3	-	-	-	1	1	-	-	-	-
Ad-5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	2	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	-	1	-	-	-	-
検査中	25	4	0	1	0	0	2	23	25(37)
陰性	13	0	0	0	0	2	1	53	0(2)

\*インフルエンザは2017/2018シーズン(2017年9月～)の結果

\*\*麻しん・風しんの( )内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲 #ワクチン株1名

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、EV: エンテロウイルス、  
FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、  
FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、MeV: 麻しんウイルス、  
NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

- 感染性腸炎 ロタ(+)例あり  
3歳 2例、4歳 1例(入院)、6歳 1例、7歳 1例 【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】  
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 感染性胃腸炎増加しています。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 溶連菌感染症、アデノウイルス感染症増えてきました。  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 溶連菌が19名と多かったです。  
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- 29歳男 カンピロバクター検出  
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザA 1名  
【北名古屋市 田中クリニック】

### 尾張東部地区

- 溶連菌感染症流行持続  
アデノウイルス感染症散発  
4か月女 病原大腸菌O6検出  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルエンザ陽性報告 2名(小児1名、成人1名、A型2名) インフルAが残っていました。  
RSV、GASはまだ多いです。  
水痘はたまたまだと思います。  
【春日井市 春日井市民病院】
- 15歳男 カンピロバクター腸炎  
胃腸炎多数  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名  
【半田市 林医科歯科医院】
- インフルエンザA型 1名  
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 手足口病 3名  
【半田市 ひいらぎこどもクリニック】
- 4歳男 ロタウイルス  
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- ロタウイルス胃腸炎 2名2歳  
アデノウイルス感染症 1名3歳  
インフルエンザB 1名8歳  
【東海市 もしもしこどもクリニック】

### 西三河地区

- hMPV 1歳女  
StrepA(+) 3名  
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- hMPV 3歳女 2歳男  
【豊田市 田中小児科医院】
- マイコプラズマ 20歳以上 男1人 女2人  
【豊田市 わかぞの東洋クリニック】
- マイコプラズマ 8歳女 1人  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- ヒトメタニューモ 1歳女  
サルモネラ、病原性大腸菌O1 1歳女 (混合感染)  
やや水痘がはやっています。  
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザA型 1名  
【刈谷市 田和小児科医院】
- 水痘 2名  
【知立市 宮谷クリニック】
- 胃腸かぜが少し目立ちました。  
【西尾市 山岸クリニック】

### 東三河地区

- 感染性胃腸炎が増えています。  
A群溶連菌感染症も増えています。  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- 手足口病が散発しています。  
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
- ヒトメタニューモ 1名  
【新城市 新城市民病院】
- 病原性大腸菌O1 0歳男  
病原性大腸菌O166 6歳女  
【豊川市 ささき小児科】
- ロタウイルス 4名  
マイコプラズマ 1名  
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2018年5月16日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki\\_jun180501.pdf](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki_jun180501.pdf)

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2018年19週報告数			2018年総計(1～19週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市	12	3	5	207	51	59
豊田市	3	1	2	30	5	8
豊橋市	1		1	32	2	21
岡崎市	3	1	1	20	3	7
一宮	2	2		43	15	15
瀬戸	3		2	34	6	14
半田				25	6	12
春日井	3		1	37	5	14
豊川	1		1	13	4	6
津島	2			37	4	4
西尾				8	1	1
江南	1			8		
新城	1		1	2		2
知多	3			20	9	1
清須	1	1		11	3	4
衣浦東部	2		1	20	4	8
合計	38	8	15	547	118	176

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	31歳	男	-/-	5/7	5/10	O91、VT1(+) 無症状病原体保有者
2	豊田市	52歳	男	-/-	5/7	5/11	O26、VT1(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（感染経路、感染地域は推定も含む）

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	41歳	男	肺炎型	国内
2	名古屋市	66歳	男	肺炎型	国内
3	春日井	22歳	男	肺炎型	国内
4	春日井	59歳	男	肺炎型	国内

● アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	59歳	男	腸管アメーバ症	経口	インドネシア

● カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	感染経路	感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	79歳	男	不明	国内	無
2	豊田市	77歳	男	以前からの保菌、 その他	国内	無
3	瀬戸	77歳	男	不明	国内	無

● 急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染地域
1	名古屋市	4歳	男	病原体不明	国内

● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	43歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	45歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	23歳	男	無症候性キャリア	性的接触	大韓民国
4	名古屋市	27歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内

● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	89歳	女	無	国内
2	衣浦東部	80歳	女	不明	国内

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	77歳	男	不明	国内
2	名古屋市	79歳	女	不明	国内
3	豊田市	85歳	女	不明	国内
4	豊橋市	28歳	女	無	国内
5	一宮	82歳	女	無	国内
6	衣浦東部	0歳	男	不明	不明
7	衣浦東部	61歳	男	無	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	感染経路	感染地域
1	名古屋市	49歳	女	無症候	性的接触	国内
2	名古屋市	43歳	男	早期顕症	性的接触	不明
3	名古屋市	28歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	豊田市	55歳	男	早期顕症	性的接触	国内
5	豊橋市	25歳	女	早期顕症	性的接触	国内
6	一宮	26歳	女	早期顕症	性的接触	不明
7	半田	32歳	男	早期顕症	性的接触	国内

● 百日咳（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染経路・感染地域等
1	名古屋市	51歳	女	不明	国内
2	豊橋市	25歳	女	不明	国内
3	一宮	42歳	男	不明	国内
4	一宮	42歳	女	不明	家族内感染
5	一宮	52歳	女	不明	国内
6	一宮	38歳	女	不明	国内
7	一宮	12歳	男	不明	流行有（学校）

● 麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	感染地域
1	名古屋市	29歳	女	不明	国内
2	名古屋市	14歳	女	無	国内
3	名古屋市	17歳	女	無	国内
4	名古屋市	2歳	男	無	国内
5	名古屋市	30歳	男	有	国内

## 4月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [( )は無症状病原体保有者再掲]

2017～2018年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2018年4月			2018年	2017年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	81 (22)	61 (13)	142 (35)	480 (144)	1,533 (432)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	13 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	2 (0)	0 (0)	2 (0)	6 (2)	178 (42)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (44)	E型肝炎	2	1	3	5	6
	A型肝炎	1	0	1	1	17
	エキノкокクス症	0	0	0	0	1
	オウム病	0	0	0	0	3
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
	チクングニア熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	1	4
	デング熱	0	0	0	3	23
	ブルセラ症	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	2	3	5	18	102
五類 (23)	アメーバ赤痢	0	1	1	17	57
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	10
	内訳 B型	0	0	0	0	9
	内訳 その他	0	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	2	3	5	39	117
	急性脳炎	1	0	1	14	43
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	1	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	4	16	37
	後天性免疫不全症候群	2	6	8	33	72
	内訳 無症候性キャリア	0	4	4	20	40
	内訳 AIDS	1	2	3	12	29
	内訳 その他	1	0	1	1	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	3	6	13	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	1	3
	侵襲性肺炎球菌感染症	13	8	21	83	208
	水痘(入院例に限る。)	2	0	2	7	20
	梅毒	15	17	32	122	344
	内訳 無症候	2	4	6	28	108
	内訳 早期顕症	13	12	25	90	225
	内訳 晩期顕症	0	1	1	4	10
	内訳 先天梅毒	0	0	0	0	1
	播種性クリプトкокクス症	2	0	2	5	12
	破傷風	0	0	0	1	11
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	1	1	1	0
	百日咳*	14	4	18	58	-
	風しん	0	0	0	0	3
	麻しん	2	8	10	11	1
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	1
	総 計	147	118	265	938	2,872

\* 2018年1月1日に「百日咳」が五類感染症(全数把握)に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2018年4月			2018年 累計		2017年 総計			
	愛知県 <small>&lt;名古屋市除く&gt;</small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体 合計		愛知県全体 合計			
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	23	43	66	262	448	909	1,586
		女	26	15	41	186		677	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	9	10	19	72	185	223	536
		女	24	8	32	113		313	
	尖圭コンジローマ	男	3	12	15	64	101	211	307
		女	9	2	11	37		96	
淋菌感染症	男	13	22	35	152	176	462	528	
	女	4	0	4	24		66		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		56	2	58	325		1,001	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		12	2	14	46		154	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	2		3	

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2018年4月			2018年 累計		2017年 総計	
	愛知県 <small>&lt;名古屋市除く&gt;</small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体		愛知県 全体	
エキノコックス症の犬	0	0	0	3		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2018年5月1日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症* (48疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

\* 2018年1月1日に「百日咳」は定点把握疾患から全数把握疾患に変更されました。

2018年5月1日に「急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)」が五類感染症に追加されました。



